



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和6年10月第4回市長定例記者会見

- ・日時 令和6年10月28日(月)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 「みんなの学校」木村泰子先生講演会が開催されます(資料1)
- 2 赤城自然園との連携協力による秋の催しなどを紹介します(資料2)
- 3 「(仮称)しぶかわ未来共創プラン(第3期渋川市総合戦略)」の策定にかかる
市民意見公募とオープンハウスを実施します(資料3)
- 4 フィルムコミッション展を開催します(資料4)
- 5 令和6年度第2回市政モニターアンケートの実施結果をお知らせします(資料5)

その他資料提供

- ・令和6年度渋川市優良事業所表彰式を開催します(資料6)
- ・令和6年度しぶかわ市民教育の日事業(愛称:しぶかわ市民まなびの日)
を開催します(資料7)
- ・徳富蘆花記念文学館「浮世絵展」を開催します(資料8)

○次回開催予定

日時:令和6年11月5日(火) 午後1時~
場所:本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
10月28日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00 14:45	市長定例記者会見 渋川の創作こけしと関口三作展開催セレモニー	市役所本庁舎 市役所本庁舎	広報室 生涯学習課
10月29日(火)				
10月30日(水)	13:30	第30回全国創作こけし美術展in渋川オープニングセレモニー	市民会館大ホールホワイエ	生涯学習課
	14:30	道路整備促進期成同盟会群馬県協議会理事会及び第45回通常総会	ホテルラシーネ新前橋	土木管理課
10月31日(木)	13:00	群馬県都市計画協会・群馬県街路事業促進協議会による要望活動	国土交通省ほか	交通政策課
11月1日(金)	13:30	令和6年度渋川市優良事業所表彰式	市役所第二庁舎	産業政策課
	17:00	子持産業振興(株)取締役会	子持行政センター	農政課
11月2日(土)	9:30	令和6年度しぶかわ市民まなびの日	市民会館	生涯学習課
	12:00	しぶかわふるさとまつり開会式	子持ふれあい公園	産業政策課
	17:00	温泉と芸妓文化の灯りオープニングセレモニー	伊香保だんだん広場	観光課
11月3日(日)	9:00	小野上地区文化フェスティバル	小野上公民館	小野上公民館
	9:30	西部五町文化祭芸能発表会開会式	渋川西部公民館	渋川西部公民館
	11:00	熊野町自治会三世代交流ふれあい餅つき大会	熊野町会館	市民協働推進課
11月4日(月)	15:00	渋川創作こけし絵付けコンクール～あなたのこけしが全国展に～表彰式	市民会館多目的室	生涯学習課
11月5日(火)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
	15:00	群馬県市長会議	市町村会館	秘書室
	18:00	自治会長との懇談会(渋川西部地区)	市役所第二庁舎	市民協働推進課

資料1

「みんなの学校」木村泰子先生講演会が開催されます

「家庭と地域での子育て」というテーマで、参加者ひとりひとりが正解のない問いに自分の言葉で向き合う『「みんなの学校」木村泰子先生講演会』が、12月14日(土)に開催されます。

1 概 要

ドキュメンタリー映画「みんなの学校」のモデルとなった大阪市立大空小学校の初代校長 木村泰子先生をお招きし、「家庭と地域での子育て」というテーマで、参加者ひとりひとりが正解のない問いに自分の言葉で向き合う「全校道徳」という対話型の講演会が開催されます。

また、講演会の前には、渋川市内で活動する子ども支援団体による遊び体験ブース、パネル展示や、キッチンカーの出店等が予定されています。

この講演会は、誰でも気軽に参加が可能で、子育て支援、参加者同士の交流促進、団体同士の連携強化など、様々な観点から渋川市のまちづくりに資する取り組みとなっています。そのため、市民生活に有益な事業に該当すると認められ、「しぶかわ未来共創推進事業補助金」の交付を受けて実施されます。

2 日 時 令和6年12月14日(土) 午後1時30分～(2時間程度)

3 会 場 金島ふれあいセンター(渋川市金井1999)

4 内 容

- (1) 木村泰子先生講演会
- (2) 参加者全員で行う全校道徳体験(グループトーク)
- (3) 遊び体験ブース、パネル展示、光る泥だんごづくり、紙コップ遊び など
(午前10時～正午)

※駐車場では、キッチンカーの出店も予定されています。

5 入 場 料 無料

6 参加方法

Googleフォーム(右の二次元コード)で申し込むか、氏名、年齢区分(大人/高校生/中学生/小学生/未就学児/その他)、木村先生に質問してみたいことをメール(shibukawa-oyako1987@docomo.ne.jp)で送信してください。

※チラシの二次元コードからも申し込みできます



7 主 催 『みんなの学校』渋川上映実行委員会

8 後 援 渋川市、渋川市教育委員会

9 記者会見出席者

『みんなの学校』渋谷上映実行委員会

会長 山口 昭子（やまぐち あきこ）さん

書記 榎倉 泰子（もみくら やすこ）さん

参考

1 木村泰子（きむらやすこ）さんについて

大阪市出身。大阪市立大空小学校の初代校長。地域の住民や学生のボランティアだけでなく、保護者らの支援も積極的に受け入れた「地域に開かれた学校」として、多くの大人たちで見守れる体制を作っている。学校の理念は「すべての子どもの学習権を保障する学校をつくる」であり、不登校はゼロ。学校を外に開き、教職員と子どもとともに地域の人々の協力を経て学校運営にあたるほか、特別な支援を必要とされる子どもも同じ教室でともに学び、育ち合う教育を具現化した。

2015（平成27）年2月、同校のドキュメンタリー映画「みんなの学校」が全国で公開され大ヒット。大空小の子どもたちと教職員、保護者、地域の人々が学び合い、成長していく感動の軌跡をたどりながら、今の時代に求められる教育のあり方に鋭く迫る映画として注目を集めた。

2015（平成27）年春、45年間の教職歴をもって退職。現在は全国で講演活動などを行っている。

2 『みんなの学校』渋谷上映実行委員会について

社会教育や子どもの健全育成を活動目的とした市内NPO法人のメンバーや、PTAのOB等で組織され、地域における子育ての充実等を目的に事業を実施している。

3 しぶかわ未来共創推進事業補助金制度を活用した今後実施予定の講演会

- ・アミューズマーケット in SHIBUKAWA（令和6年11月17日（日））
- ・映画『ノルマル17歳ーわたしたちはADHDー』の上映会と多彩なゲストとのフリーディスカッション（令和6年12月15日（日））

※詳しくは、市ホームページ（https://www.city.shibukawa.lg.jp/shisei/seisaku_keikaku/machi_hito_shigoto/p011292.html）をご覧ください

市ホームページはこちら▶



■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-25-8419）

課長 小野 篤史（内線2420）

未来戦略係長 齋藤 大輔（内線2423）

あしたからの子育てが もっと楽しくなる
自分にできることが きっと見つかる



2027年、
県内に導入される
インクルーシブ教育
に先駆けて

映画
『みんなの学校』の
全校道徳に学ぶ



木村泰子先生と
一緒に
考えよう！



木村泰子先生

プロフィールは裏面へ！

子どもたちの参加
大歓迎！
何歳からでも
何歳までも参加できる！

自分の思いを言うのって

なんて

オモロい！んや！

みんなで話そう！

「みんなの学校」 木村泰子先生講演会



親には言えない
悩みがある

自分らしく
生きたい！



地域の大人
として
何が出来る？

子育てで
悩むことがある

子どもたちが
のびのび
生きるには…



参加費
無料

2024年 **12月14日** (土)

開場 13:00 開演 13:30

日時

場所

金島ふれあいセンター大ホール

内容

木村泰子先生のお話と、
参加者全員で行う全校道徳体験（グループトーク）
*手話通訳及び託児をご希望の方は、1週間前(12/7)までに下記問合せ先にご連絡下さい



参加申込は
こちらから！



当日は キッチンカー・遊び体験コーナーもあります！詳しくは裏面へ

主催/「みんなの学校」澁川上映実行委員会 後援/澁川市 澁川市教育委員会
お問合せ ☎090-1994-2382(連絡は15時半以降) @shibukawa-oyako1987@docomo.ne.jp

「みんなの学校」木村泰子先生講演会同時開催

入場
無料

12/14
Sat

あそぼう! 食べよう! つながろう!

開催時間
10:00~12:00
講演会の前に、ぜひ
お立ち寄りください!

渋川市内には、子どもたちに向けた支援をしている団体がたくさんあります。
パネルや体験ブースに立ち寄って、さまざまな団体とつながりませんか!

2F

講堂

光る泥だんご つぼろろ!

つやつやピカピカの光る泥だんご
磨けば磨くほど輝くよ!
こちらのブースは午後も
実施します (13:00~15:30)

紙コップであそぼう!

約2000個の紙コップを積んだり
並べたり...無限大の楽しさ!

1F

大ホール

遊び体験ブース

紙芝居やボードゲームなど、夢中
になる遊びが満載!
(詳しくは当日のパンフレットをご覧ください)

子ども支援団体

パネル展示

遊び体験や子ども食堂など、
渋川市内の子ども支援団体を
パネルで紹介いたします!

Kanashima
Fureai
Center

Parking lot

キッチンカー出店

あったかいスープにほかほか肉まん
ほかにもおいしいごちそうがいっぱい!
1Fや2Fで遊びつつ、午後の講演会前にキッチンカーでランチを!

午後はぜひ
講演会へお越し
ください!

木村泰子先生プロフィール

大原市立大空小学校の初代校長。大空
小学校の1年間を巡ったドキュメンタ
リー映画「みんなの学校」は大きな反
響を呼んだ。現在は講演やセミナーで
全国の人たちと学び合っている。

著書: お母さん文える言葉 (増田社)
「ほんどのこと」は、親にはいえない
(家の内社)
ほか多数



赤城自然園との連携協力による秋の催しなどを紹介します

渋川市は、赤城自然園と締結している包括連携協定の取り組みの一環として、秋の紅葉シーズン中に「観光×環境×健康」をつなぐ、電動アシスト自転車「あじサイクル」を利用した催しを開催します。併せて、渋川市が全国に誇る赤城自然園の秋を、肌で感じてもらえる催しなどを紹介します。

1 概要

渋川市と赤城自然園（運営：(株)クレディセゾン）は、緊密に連携しながら双方の資源を有効に活用することを目的として包括連携協定を締結しています。

この包括連携協定の取り組みの一環として、秋の紅葉シーズン中に「観光×環境×健康」をつなぐ催しを行います。渋川市の秋の自然景観を楽しんでもらい、併せて、環境負荷のかからない自転車による移動で健康増進にもつながります。

また、標高600mの赤城自然園に秋が訪れる11月は、紅葉が見頃を迎え、訪れるたび新しい発見がある季節です。渋川市が全国に誇る赤城自然園の秋を、存分に楽しめる催しを紹介します。

2 ちゃりチャレ2024秋「赤城自然園」森までクライム

期間中、電動アシスト自転車「あじサイクル」をレンタルして赤城自然園までのヒルクライムにチャレンジし、園内散策を楽しんでくれる人に赤城自然園ご招待券を進呈します。

- (1) 実施期間 令和6年11月2日(土)～11月10日(日)
※休園日の11月5日(火)を除く
- (2) 受付場所 渋川駅前プラザ1階
- (3) 受付時間 午前10時～午後1時
※赤城自然園の入園時間は午後3時30分までです
(営業時間：午前9時～午後4時30分)
- (4) 対象者 あじサイクルで赤城自然園を目指す高校生以上の人
※写真付き身分証明書の提示が必要です
- (5) コース 渋川駅前プラザ(しぶさん)～赤城自然園
- (6) 予約 あじサイクル10台(スポーツタイプ5台、ママチャリタイプ5台)
のうち5台まで事前予約が可能です。
※貸出可能な自転車が無くなり次第受付終了となります
- (7) 予約受付 渋川駅前証明サービスコーナー
※受付時間：午前10時30分～午後7時(毎週火曜日を除く)
※電話番号：0279-24-0022
- (8) 注意事項
- ①ご招待券のプレゼントは期間中1人1枚限りです
 - ②荒天時はあじサイクルの貸出しを中止する場合があります
 - ③あじサイクル以外の自転車での挑戦はちゃりチャレの該当になりません
 - ④乗り方により、自然園到着前にバッテリーがなくなる場合もあります。あらかじめご承知おきください

3 「赤城自然園」秋の紅葉シーズン中の催しなど

(1) 花の見どころ情報

- ・20種類以上のカエデの紅葉
- ・リンドウや秋咲きシクラメン、アワコガネギク

(2) おすすめ情報

①森deミュージック

- ・開催日：11月2日(土)、3日(祝・日) 午前10時30分～、午後1時30分～
※各回20分
- ・内 容：群馬県で活躍している奏者を招いて「森の小さな音楽会」を開催します
- ・演奏者：2日(土)＝オーボエ奏者「佐藤美香」さんのソロコンサート
3日(日)＝サクソ奏者「田中碧」さん率いるサクソカルテット
- ・参加料：無料

②森deリース作り

- ・開催日：11月2日(土) 午前10時30分～
- ・内 容：園内で拾ったマツボックリやドングリなどの木の実を使って世界に一つだけのオリジナルリースを作成します。
- ・参加方法：要予約(有料)

③森deリトリート

- ・開催日：11月9日(土) 午前10時30分～
- ・内 容：栄養専門の精神科医「奥平智之」先生監修の赤城自然園オリジナル森林セラピープログラムです。森の癒やしに身を任せくつろぎの時間を存分にお楽しみください。
- ・参加方法：要予約(有料)

4 記者会見出席者

赤城自然園 総支配人 内山 純一(うちやま じゅんいち)さん

参考

1 赤城自然園との連携協定

(1) 協定締結日 平成31年4月5日

(2) 概 要

渋川市と赤城自然園を運営する株式会社クレディセゾン(本社：東京豊島区代表取締役COO:水野 克己)は、平成31年4月5日に連携協力に関する協定を締結しています。この協定は、双方の有する資源を有効に活用することにより、相互の発展及び充実を図るとともに、地域社会の発展に資するものです。

この協定により、健康増進を目的とした森林セラピー基地としての活用や観光客の誘致による地域経済の活性化などを推進していきます。

2 赤城自然園について

赤城自然園（渋川市赤城町南赤城山892）は、(株)クレディセゾンが「次世代を担う子どもたちに豊かな自然を引き継ぐ」ため、平成22年から社会貢献活動の一環として運営し、平成30年4月から、通年開園を行っています。

園では、約500種の四季折々の豊富な山野草が広がり、北関東に生息する1,800種を超える昆虫類や鳥類を自然に近い形で見ることができます。

また、癒やし効果が実証された「森林セラピー基地」として認定され、企業や団体などでの健康増進イベントの開催場所としても利用されています。

3 あじサイクルについて

(1) 概要

市民や本市を訪れる観光客の移動手段として、電動アシスト自転車10台(スポーツタイプ5台、ママチャリタイプ5台)の貸し出しを令和元年5月19日から始めました。この事業は、群馬県立渋川女子高等学校の総合的な学習の時間の中で生徒から提案されたものです。事業化に当たり、愛称や自転車のラッピングデザインの選定にも、同校生徒に協力してもらいました。

(2) 利用実績

年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
件数	1,029件	882件	694件	820件	863件

※令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大により一時貸出し中止

(3) ちやりチャレの実績

- ①2023年春開催（実施期間：4月29日～5月7日）＝21件利用
- ②2023年秋開催（実施期間：11月3日～12日・定休日の7日を除く）＝17件利用
- ③2024年春開催（実施期間：4月27日～5月6日）＝12件利用

■問い合わせ先

産業観光部 部長 金井 裕昭（内線4899）

担当：産業政策課（電話0279-22-2596）

課長 山田 量俊（内線4890）

商工・産業振興係長 堀田 章恵（内線4895）

11/2(土)～11/10(日)

チャリチャレ2024 秋

「赤城自然園」森までクライム

- ・期間…………… 令和6年11月2日(土)～11月10日(日) ※11月5日(火)を除く
- ・受付・借受場所・ 渋川駅前プラザ1階
※参加料・電動アシスト自転車(あじサイクル)借受は無料
- ・受付時間…………… 午前10時～午後1時
赤城自然園の入園時間は午後3時30分までです(営業時間:午前9時～午後4時30分)
到着時間に余裕をもって申し込みをしてください!
- ・対象者…………… あじサイクルで赤城自然園を目指す高校生以上(写真付き身分証明書の提示が必要です)
- ・コース
【往 路】 目指せ! 赤城自然園(約1時間15分・約10km)
渋川駅前プラザ(借受・無料)→赤城自然園(園内散策)
飲み物、お弁当などカゴに入れたらLet's Go!
【自然園散策】 園内散策
【復 路】 ブレーキを握りしめて～ゆっくりダウンヒル!(約20分)市街地までほぼノーペダル!
ロケーション最高!(榛名～谷川の眺望、渋川の街並み)
- ・特 典…………… 申込時に「赤城自然園」のご招待券(申込者1人につき1枚)進呈!
※ご招待券のプレゼントは期間中1人1枚限りです。

注意) チャリチャレ申込み・あじサイクル借受けにあたり

- ・当日の貸出可能な自転車がなくなり次第受付終了となります(スポーツタイプ5台・ママチャリタイプ5台)
※乗り方により、自然園到着前にバッテリーがなくなる場合もあります。あらかじめご承知おき下さい。
- ・あじサイクル借受の際の注意事項を遵守してください
- ・荒天時は貸し出しを中止する場合があります
- ・あじサイクル以外の自転車での挑戦はチャリチャレの該当になりません

【予約・問い合わせ先】

チャリチャレに関すること…………… 渋川市産業観光部 産業政策課
TEL0279-22-2596(閉庁日を除く午前8時30分～午後5時)
あじサイクルの予約に関すること… 渋川駅前プラザ1階証明サービスコーナー
(TEL 0279-24-0022)

バッテリーは赤城自然園までもつの?

～実際に走ってみました!～

- ①所要時間 往路)約1時間15分(ほぼ登り)
復路)約20分(ほぼ下り)
- ②バッテリー消費状況(往路)
 - ・ママチャリタイプ:100%(帰り道はほぼ下り道)
 - ・スポーツタイプ:60%(もしかしたら2往復できるかも)
- ③バッテリー消費を抑えるコツは?
なるべく軽いギアでペダルを漕ぎながらアシスト機能を使うのがコツ!バッテリーはフル充電状態で貸し出しますが、状況により消耗度が早い場合があります。
- ④実走ライダー諸元
51歳(Men)・体重80kg(メタボ体型)※身体状態:前夜のナイタースキー後の筋肉痛、寝不足・運動不足



「(仮称)しぶかわ未来共創プラン(第3期渋川市総合戦略)」の策定にかかる市民意見公募とオープンハウスを実施します

「(仮称)しぶかわ未来共創プラン(第3期渋川市総合戦略)」の策定に当たり、市民の皆さんの意見を幅広く計画に反映させるため、計画案に対する市民意見公募とオープンハウスを実施します。

1 概要

渋川市は現在、「第2期渋川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂版として、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の考え方を踏まえ、これまでの取り組みにデジタル活用の視点を加えることで、人口減少の抑制や活力ある地域の実現を目指す「(仮称)しぶかわ未来共創プラン(第3期渋川市総合戦略)」の策定を進めています。

計画の策定に当たっては、これからの渋川市を「市民と共に考え、共に創る」ことをコンセプトとし、市民や高校生の皆さんなどから様々な意見を伺い、幅広く計画に反映させていきます。

2 市民意見公募の実施

(1) 計画案の公表・意見募集期間 令和6年11月11日(月)～12月10日(火)

(2) 計画案の公表方法

- ・ 渋川市公式ホームページへの掲載
- ・ 渋川市役所本庁舎(1階市民ホール前、2階政策戦略課)、第二庁舎(2階入口)、各行政センターでの閲覧
※閲覧時間は、開庁日の午前8時30分～午後5時15分

(3) 意見の提出方法

市ホームページまたは閲覧場所に設置している所定の様式に意見と必要事項を記入し、次のいずれかの方法で提出してください。

- ・ 持参：政策戦略課または各行政センター
- ・ 郵送：〒377-8501 渋川市石原80番地 渋川市政策戦略課 宛
- ・ FAX：0279-24-6541
- ・ Eメール：hp-seisaku@city.shibukawa.gunma.jp

(4) 結果の公表

提出された意見に対する市の考え方をホームページなどに掲載します。

なお、意見以外の個人情報などは公表しません。また、意見に対する個別の回答は行いません。

3 オープンハウスの実施

(1) オープンハウスとは

パネルの展示やリーフレット等の資料配付などにより、計画案に関する情報を提供するとともに、アンケートやコメントカードなどにより、来場者からの意見を聴取する手法です。

(2) 実施方法

計画案に基づき作成したパネルの展示及び計画書の概要版等により来場者に計画案を説明し、シールボードやアンケートなどにより市民の意見を伺います。

(3) 実施日程・場所

- ①令和6年11月9日(土)午前10時～午後2時：中村緑地公園
※「第7回しぶかわスポーツクラブまつり」会場で実施
- ②令和6年11月17日(日)午前10時～午後2時：中村緑地公園
※「アミューズマーケットin SHIBUKAWA」会場で実施
- ③令和6年11月21日(木)午前8時30分～正午：渋川市役所本庁舎1階市民ホール
- ④令和6年11月27日(水)午前9時～正午：渋川すこやかプラザ

4 その他

県内他市において、前橋市、桐生市、伊勢崎市、安中市の4市が、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を踏まえた「地方版総合戦略」をすでに策定しています(いずれも令和6年3月策定)。

参考

しぶかわ未来共創カフェ(実施済み)

渋川市は、(仮称)渋川市デジタル田園都市構想総合戦略の策定に当たり、高校生やまちづくり青年団体等を対象とした、市民ワークショップ「しぶかわ未来共創カフェ」を計4回開催しました。

(1) テーマ

- ・10年後の渋川市がどんなまちになっていたいですか
- ・そのためにはどんな取り組みが必要だと思いますか？

(2) 開催状況

- ・1回目＝6月11日・オンライン開催／12人参加(公募市民)
- ・2回目＝6月15日・渋川市役所本庁舎／15人参加(公募市民)
- ・3回目＝8月25日・千明仁泉亭／17人参加(市内高校生)
- ・4回目＝9月18日・渋川市役所第二庁舎／19人参加(渋川商工会議所青年部、しぶかわ商工会青年部、渋川青年会議所)

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史(内線2410)
担当：政策戦略課(電話0279-25-8554)
課長 小野 篤史(内線2420)
政策推進係長 坂本 和馬(内線2422)

フィルムコミッション展を開催します

映画やドラマなどの撮影を誘致し、撮影の支援を通して地域活性化を図るため、渋川市は「渋川伊香保温泉フィルムコミッション」を立ち上げ、活動しています。この活動や支援作品、ロケ地を紹介する展示会を開催します。また、大部分の撮影を市内で行った短編映画「光はどこにある」の上映を同時実施するとともに、監督を招いた鑑賞会も開催します。

1 概要

渋川市は、練馬ICから関越自動車道で約1時間20分と都心からのアクセスが良く、日本の名湯「伊香保温泉」のほか、豊かな自然、史跡や歴史的建造物などさまざまなロケーションを有しています。これらの魅力を映像を通して発信していくことで、地域の新たな価値の発見、地域活性化や観光振興につなげることを目的として、平成26年に「渋川伊香保温泉フィルムコミッション」を設立し、活動しています。

今回、フィルムコミッションを多くの人に知ってもらい、活動に対する認知度を高めることで、今後の各種撮影の実施を推進するため、支援作品やロケ地などを紹介する展示会を開催します。

2 期 日 令和6年11月21日(木)～27日(水) 午前9時～午後5時
※土・日曜日を除く

3 会 場 渋川市役所本庁舎1階 市民ホール

4 内 容

- (1) 渋川伊香保温泉フィルムコミッションの活動紹介
 - (2) 渋川伊香保温泉フィルムコミッションが制作を支援した作品紹介
ポスター、作品の説明、出演者のサイン、小道具等の展示
 - (3) 支援作品の上映
 - ・上映作品：短編映画「光はどこにある」(上映時間：30分)
 - ・上映時間：午前9時から1時間ごとに上映を開始。最終は午後4時
- ※本作は、昨年度の文化庁主催「ndjc：若手映画作家育成プロジェクト2023」の支援作品です。渋川伊香保温泉フィルムコミッションが制作に協力し、大部分の撮影が渋川市内で行われました

5 短編映画「光はどこにある」監督と一緒の鑑賞会

本映画の野田麗未監督を招いてトークイベントと上映会を開催します。

- (1) 日 時 令和6年11月22日(金) 午後6時30分～7時30分
- (2) 場 所 渋川市役所本庁舎1階 市民ホール
- (3) 料 金 無料(申込不要)

参考

短編映画「光はどこにある」の作品概要

(1) ストーリー

消化器内科病棟で働く看護師の田辺灯里は、新人看護師・朝倉健太らと共に慌ただしい日々を送っている。

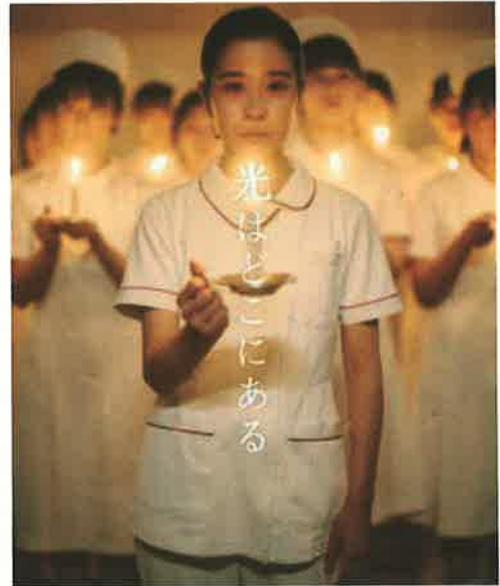
ある日緊急入院で膵臓癌ステージ4の患者・山野佳子が運び込まれてくる。佳子を見た途端、固まる灯里。

灯里には、誰にも明かせていない“過去”があったー

(2) 監督・脚本：野田麗未

(3) 出演者：円井わん、東龍之介、霧島れいか、鷺尾真知子

(4) ロケ地：渋川すこやかプラザ（旧渋川総合病院）、市内の居酒屋・民家など



©2024 VIPO

■問い合わせ先

総合戦略部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：広報室（電話0279-22-2182）

室長 熊迫 徳三（内線2419）

シティブランド発信係長 小杉 早苗（内線2416）

令和6年度第2回市政モニターアンケートの実施結果をお知らせします

渋川市は、令和5年度に導入した「市政モニター」制度を活用し、44人の市政モニターを対象として、今年度2回目のアンケートを実施しました。37人から回答をいただいたアンケートの集計結果をお知らせします。

このアンケート結果は、各種施策の推進や計画立案などの参考資料として効果的に活用するとともに、市ホームページで公開します。

1 概要

渋川市は、市の政策や計画策定などに対する市民意見を聴取し、各種施策の推進や計画立案などの参考資料として効果的に活用するとともに、市政への市民参加の実現と開かれた市政を推進するため、令和5年度に「渋川市市政モニター」設置しました。今年度は、渋川市内関係団体からの推薦34人と公募による10人の計44人を市政モニターに登録しています。

今回、令和6年度第2回市政モニターアンケートとして、「新市誕生20周年について」、「市の広聴事業について」、「プラスチックの分別収集について」をテーマにしてアンケートを実施しました。

このアンケートの結果をお知らせします。

2 アンケート実施期間 令和6年9月2日(月)～20日(金)

3 アンケート実施対象

令和6年度渋川市市政モニター44人(推薦による登録・34人、公募による登録・10人)

4 回答状況 回答者：37人(20～80歳代) ※回答率：84.1%

5 アンケート集計結果

(1) 新市誕生20周年について

①結果概要・主な意見

回答者の約9割が「20周年記念事業」があった方がよいと考えていました。

自由意見では、なるべく費用を掛けずに実施した方がよいとする意見が複数ありました。

②今後の対応

今回いただいた意見は、新市誕生20周年記念事業の実施検討に当たり参考とし、行事の開催方法などを研究・調整します。

(2) 市の広聴事業について

①結果概要

現在実施している事業の認知度は低い状況でした。ただし、団体から意見を聴く制度が必要だと考えている人は少なくありませんでした。

②主な意見

・時勢にあった団体を公正に選び、市の活性化に繋げてほしい。

・無作為にモニターを選ぶのではなく、公募により、市への意見などがある人と対話した方がモニタリングできると思う。

③今後の対応

団体を対象とする広聴事業について、周知対象や周知方法を再検討し、事業の活用を促します

(3) プラスチックの分別収集について

①結果概要

モニターの多くがプラスチックの分別収集に取り組んでいました。分別収集の結果や効果の周知が必要だと考えている人が少なくないようです。

②主な意見

- ・集めたプラゴミがその後どのように活かされているのか、可視化して情報提供できれば、みんなが自分事として理解できるのではないか。
- ・回収に取り組む人に、資源活用で生まれたものをプレゼントする制度があれば分別する人が増えると思う。

③今後の対応

今回いただいた意見は、今後のプラスチック分別収集事業を進める上で参考とします

※アンケートの集計結果の詳細は別紙のとおりです

6 その他

今回のアンケート結果を、事業担当課を含む市内の全所属に共有し、各施策の今後の展開に反映できるよう検討していきます。

参考

1 市政モニター登録者の情報

- (1) 居住地 渋川地区 (17人)、伊香保地区 (7人)、小野上地区 (2人)、子持地区 (7人)、赤城地区 (5人)、北橋地区 (6人)
- (2) 年 齢 20歳代 (5人)、30歳代 (9人)、40歳代 (6人)、50歳代 (3人)、60歳代 (9人)、70歳代 (9人)、80歳代 (3人)
- (3) 職 業 会社役員、会社員、団体職員、パート、主婦、建設業、神主、旅館業、農家、キャリアカウンセラー、インストラクター、相談支援専門員、土地家屋調査士、施設指導員、自営業、自動車整備・販売業、金属製建具工事業、大学生、無職
- (4) 性 別 (推薦による登録者のみ) 男性=22人、女性=12人
- (5) 任 期 1年

2 今年度のアンケートの回答状況

第1回 実施期間：令和6年6月18日(火)～7月2日(火)

テ ー マ：①渋川市とハワイ郡との交流について

②市の農林行政の推進について

回答状況：回答者40人・回答率90.9%

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史 (内線2410)

担当：広報室 (電話0279-22-2182)

室長 熊迫 徳三 (内線2419)

広報広聴係長 武井 香代 (内線2414)

令和6年度 第2回 渋川市市政モニターアンケート結果

渋川市は、市民の皆様から市政等に関する意見や要望をお聞きし、各種施策の推進や計画立案の参考とさせていただくことを目的に市政モニターアンケートを実施しました。

令和6年度 第2回 アンケートの集計結果は次のとおりです。

- 【調査対象】 令和6年度市政モニター44人（公募10人・団体推薦34人）
＜モニターの要件＞
- ・市内に住所を有する18歳以上の人
 - ・公務員や地方公共団体の議員などでない人
 - ・同一世帯に市政モニターに応募しようとする者がいない人
- 【実施期間】 令和6年9月2日（月）～9月20日（金）
- 【実施方法】 アンケートフォームによる（一部、書面（郵送）調査）
- 【実施内容】
1. 新市誕生20周年について（問1～問3）
 2. 市の広聴事業について（問4～問6）
 3. プラスチックの分別収集について（問7～問11）
- 【回答状況】 アンケート調査回答者：37人（20歳代～80歳代）
回答率：84.1%

参考

＜アンケート回答者の情報＞

- (1) 居住地 渋川地区（13人）、伊香保地区（6人）、小野上地区（2人）、子持地区（6人）、赤城地区（5人）、北橋地区（5人）
- (2) 年齢 20歳代（4人）、30歳代（8人）、40歳代（5人）、50歳代（2人）、60歳代（8人）、70歳代（7人）、80歳代（3人）

渋川市

（広報室）

令和6年度 第2回
渋川市市政モニターアンケート結果

1. 新市誕生 20周年について

現在の渋川市は、2006（平成18）年2月20日に、渋川市、伊香保町、小野上村、子持村、赤城村、北橋村が新設合併をして誕生しました。そして、次年度中の2026（令和8）年2月には、新市誕生20周年を迎えます。

市は、市政20周年という節目を、市民の皆さんや市内事業者など、関わる全ての皆さんと心をひとつにして祝うとともに、本市が積み重ねてきた歴史や、先人たちの功績を振り返り、また、豊かで美しい自然や豊富な観光資源を見つめ直すことで、「渋川市」への誇りと愛着をさらに深める機会としたいと考えています。

また、この節目を形式的な行事ではなく、市民の皆さんをはじめ、本市に関わるさまざまな方々と本市の未来を展望し、渋川市が未来に向けて歩みを進める契機としたいと考えています。

問1 合併後（平成18年2月）以降の市政を振り返り、印象に残っている出来事や事業などを教えてください。

<簡易抜粋>

- ・街中の住所が一律に渋川市渋川になってしまったことは、今でもわかりにくいと感じます
- ・合併後人口が減っていること、消滅可能自治体として指摘されたこと
- ・自分が生まれ育った子持村という言葉がなくなったこと
- ・他の自治体との交流が増えてきている実感がある
- ・自校給食がなくなり、給食センターになったのは残念です。渋川市としての文化祭は意義のあるものだと思います
- ・小中学校のIT化の進展（大型テレビ、パソコン・タブレットの導入）、教育環境の整備（エアコンの設置、水洗トイレの設置）、伊香保：石段の延長、ハワイアンフェスティバルの充実
- ・共生社会に向けての活動
- ・医療的ケア児など、障害福祉に関する先進的な事業
- ・合併後赤城町の赤城の名前が残ったことは感謝です
- ・旧渋川市から市長が出ないこと。市が伊香保温泉の観光PRに力を入れてきたこと
- ・毎年行われているスポーツ祭の開会式などは、合併後の規模は大きくなったと感じています
- ・群馬県所有の観山荘を購入し伊香保温泉の石段を延伸拡張したことで景観が良くなり誘客に繋がった
- ・日本の真ん中まんじゅうフェスティバル。元々ディスティネーションキャンペーンの一環として行われたフェスが地域密着に繋がったのが良い印象です

問2 20周年記念事業としてあったらいいなと思うものを全て選んでください。

- ①プレイベント（令和7年2月までに機運醸成のために行う行事）の開催（5人・13.5%）
- ②セレモニー・祝賀式典の開催（8人・21.6%）
- ③キャッチコピーの作成（7人・18.9%）
- ④ロゴマークの作成（7人・18.9%）
- ⑤記念誌の発行（9人・24.3%）
- ⑥記念動画の作成（10人・27.0%）
- ⑦記念イベントの開催（9人・24.3%）
- ⑧記念グッズの作成（5人・13.5%）
- ⑨記念名札や記念名刺のテンプレートの公開（4人・10.8%）
- ⑩記念スポーツ大会の開催（7人・18.9%）
- ⑪海外の姉妹都市などとの交流事業の開催（10人・27.0%）
- ⑫記念写真や記念動画のコンテストの開催（2人・5.4%）
- ⑬記念音楽祭の開催（5人・13.5%）
- ⑭市内小・中学校での記念行事の開催（6人・16.2%）
- ⑮記念展示会の開催（2人・5.4%）
- ⑯記念ポスター（市外に掲載）の作成（4人・10.8%）
- ⑰現在ある事業を「市政20周年記念〇〇」（冠事業）として実施（15人・40.5%）
- ⑱記念事業は不要（4人・10.8%）
- ⑲その他（4人・10.8%）

<その他意見>

- ・道路等の補修を記念事業として広範囲にするとか未来に残り住民が実感できる事業
- ・20周年を迎えて渋川市への誘致、移住に効果のあるイベントの実施
- ・旧町村の特色を生かした旧町村単位の行事の開催。地域の力の再現

年齢別回答状況

単位：人

〇は人数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	合計	
20歳代(4)	1		1			2				2	2	1	2		1		3		15	
30歳代(8)		2		1	1	1	2			1	1			1		1	3		2	16
40歳代(5)	1		1	2	1	2	1	1			1		1	1				2		14
50歳代(2)	1		1				1				1									4
60歳代(8)	1	2	3	3	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1		1	4	3	1	32
70歳代(7)	1	2		1	4	3	2	2	2	2	3		1	2		1	3	1		30
80歳代(3)		2	1		2		1			1	1			1	1	1			1	12
合計(37)	5	8	7	7	9	10	9	5	4	7	10	2	5	6	2	4	15	4	4	

※複数選択可でありながら、得票率が1番多い「⑰現在ある事業を冠事業として実施」は全世代からの選択があるものではない。唯一「⑪海外の姉妹都市などとの交流事業の開催」は全世代から選択されている

問3 上記「問2」で選択したものの具体案や選択の理由を教えてください。

<簡易抜粋>

- ・セレモニーやイベントは参加者が限られるわりに費用・労力がかかり、費用対効果を考慮し開催すべきでない。(イベント等を開催するのであれば中途半端なモノではなく、日本中から注目されるような魅力的なモノ)
- ・市の条例やルール等で発行が定められているのであれば仕方ないが記念誌は大きな節目(50年・100年等)の発行でも良いのでは？
- ・極力予算がかからなそうなものを選択しました
- ・20周年という節目の年ではありますが、特に記念事業は不要と考えます。平成の合併で渋川市に合併された地域に住む方と元々の渋川市に住む方では、感じ方も違うと思います。すべての事業において、メリットとデメリットが存在します。事業としては不要と思いますが、何もしないのでなく、よりよい渋川市にするための取り組みは必要と思います
- ・記念事業をするなら一過性の行事をしても意味はないと思います。記念事業をするには当然予算が必要です、道路等の補修を記念事業として広範囲にするとか未来に残り住民が実感できる事業をしてはいかがでしょうか
- ・姉妹都市にも祝していただくことで距離感が縮まり、今後につながると考えたため
- ・お祭りや行事があると、記憶に残りやすく人の交流も増えると思う
- ・セレモニーや展示会は内々のものになりがちなので、対外的に市をアピールできるものがあると思った。市民がグッズをSNS等で発信できるような仕掛けがあるとなお良い
- ・町全体が盛り上がる内容としての記念式典や、この町に住む方々との歴史の振り返り、ここに住む未来の姿勢を担う子供たちが積極的にかかわれる内容の式典やイベント。これに対しては子供たちの意見を取り入れ実施までの流れが作れるともっと面白いと思う。また、今までこの街を作ってきた上の世代の方々との交流の場を作るのもよいかと思います
- ・それぞれの市町村のPR動画を撮ってもらった後、全ての市町村で今は協力し合っってこんなことをしているという動画を見てみたい
- ・大きな予算を使用する「モノ」の制作や「コト」の開催は、20周年という節目ではあるがあまり賛成とは言えない。渋川に住んでいる方々にまずは「そうだったんだ」という「認知」してもらうことが必要ではないか。ロゴマークは、様々なモノ・コトに使用できるため、認知をしてもらうことを目的とする上で必要かと思う
- ・記念事業の必要性を感じない。20周年を市民に周知できればよい。既存の事業を20周年記念とすれば十分
- ・前からある事業に冠が着くのが、1番認知されると思うから。
- ・記念誌は、発行に多大な時間を要する割に、手元に来たときは見るがその後はしまわれてしまう可能性が高い
- ・記念誌はたくさんの人に読まれるし、資料として残るため

2. 市の広聴事業について（渋川まちかどトーク）

市は、対話と参加によるまちづくりを進めるため、広聴事業を実施しています。主な事業には、市政に関する建設的な意見や要望などを、市民の皆さんから広く募集するために市有施設に設置する「市長への投書箱」や、アンケート形式で市の政策などに関する市民意見を聴く手段とする「渋川市市政モニター」、希望団体と市の関係者が市政やまちづくりなどのテーマについて意見交換を行う「渋川まちかどトーク」があります。

この他にも、市ホームページのお問い合わせ機能を活用して市政に対する意見を受け付けるなど、市民ニーズや意見・提案などを把握し、市と市民などとの協働によるまちづくりを推進したいと考えています。

なお、これらのうち、渋川まちかどトークは、参加希望団体（市民等5人以上の集まり）を随時募集する方式で実施することとしていますが、これまでに、開催実績はありません。

問4 「渋川まちかどトーク」事業を知っていましたか。

- ①知っていた（5人・13.9%）
- ②知らなかった（31人・86.1%）
- ※未回答（1人）

〇は人数	①	②	未回答	合計
20歳代(4)		4		4
30歳代(8)	1	7		8
40歳代(5)		5		5
50歳代(2)		2		2
60歳代(8)	2	6		8
70歳代(7)	1	6		7
80歳代(3)	1	1	1	3
合計(37)	5	31	1	

※どの年代も「②知らなかった」の回答が多く、世代問わず認知度が低い。「①知っていた」と回答した人は、比較的年齢が上の人であり、若い世代への周知の検討が必要と言える

問5 「渋川まちかどトーク」事業の実施方式（希望団体との対話方式による意見聴取）への意見を教えてください。「市長への投書箱」や「渋川市市政モニター」など、個人の意見を聴く制度の他に、「渋川まちかどトーク」のような団体から意見を聴く制度の必要性和合わせてお考えください。

- ①公募による実施のままでよい（希望団体がいなければ実施しなくてよい）
(12人・32.4%)
- ②団体を指名した方がよい（旧事業の方式）(6人・16.2%)
- ③個人が意見を言える場があるので「渋川まちかどトーク」は無くてよい
(4人・10.8%)
- ④わからない(12人・32.4%)
- ⑤その他(3人・8.1%)

<その他意見>

- ・①+②を希望、公募となるとなかなか応募がしにくい点は否めないが希望があれば意見を聞いてもらえるという開かれた場は重要に思います。ただ、現実的には意見がないから応募しないわけではなく場や時間があれば伝えたいことや意見は出てくるはず。なので、行政から声をかけていくことも私は必要に感じます。私も団体をもっていますが、残念ながらこのような取り組みを知りませんでした
- ・団体から意見を聴くとあるが、本当に特定の個人の意見に対して安全が配慮されるのか疑問がある
- ・団体として対話することも、団体の思いや希望、課題等を行政が理解する上で重要であろう。ただし指名ではなく、あくまでも希望の方がより積極的な意見が出るのではないかと考える
- ・旧町村単位の開催

年齢別回答状況 単位:人

〇は人数	①	②	③	④	⑤	合計
20歳代(4)		1	1	2		4
30歳代(8)	3	1		3	1	8
40歳代(5)	1	1		3		5
50歳代(2)	1				1	2
60歳代(8)	6		1	1		8
70歳代(7)		2	2	3		7
80歳代(3)	1	1			1	3
合計(37)	12	6	4	12	3	

※「③個人が意見を言える場があるので「渋川まちかどトーク」は無くてよい」が、一部の世代で選択されていないのに対し、「①公募による実施のままでよい」・「②団体を指名した方がよい」という事業の継続を選択する人が全ての世代にいることがわかる

問6 上記「問5」で①～③、または「⑤その他」と回答した方は、回答の理由を教えてください。

<簡易抜粋>

■①と回答した方（12人）

- ・無作為にモニターを選んでも、市民全員が市の事を考えているわけではないと思います。ですので、市に意見や希望等がある人と対話した方がきちんとモニタリング出来ると思います
- ・公募のままでよいが周知されていない。団体や学生に趣旨がわかるように情報提供をする

■②と回答した方（6人）

- ・団体も様々な団体があり、利益や自分たちの都合のいいように働きかける団体もあると思うので、よく内容を精査していくべきだとも思う
- ・時勢に合った団体を公正に選び、市の活性化に繋げてほしい

■③と回答した方（4人）

- ・個人が意見を述べることのできる市長への投書箱、ラインで通報できるシステムが構築されているので
- ・開催実績がないということは、関心がないともとれます。具体案が浮かばないのですが、申込を待つだけではない何か方法があればよいのですが……。市長への投書箱も敷居が高い気がします。こちらの実績はどの程度なのでしょうか？

■⑤と回答した方（3人）

- ・団体から意見を聴くとあるが、本当に特定の個人の意見に対して安全が配慮されるのか疑問がある
- ・出前「渋川まちかどトーク」の旧町村別の開催。要望は聞くだけでなく、実現させる。説明責任を果たす

3. プラスチックの分別収集について

市は、プラスチックの資源循環に取り組むため、令和6年4月からプラスチックの分別収集を開始しました。現在、プラスチック専用の指定ごみ袋を使用して、月2回の指定日に集積所へ排出されたものを分別収集しています。

事前に行った分別収集の試験結果から、1年間の分別収集量を約630トン（1カ月当たりの平均は52.5トン）と推計していましたが、4月分が16.6トン、5月分が28.6トンと推計値よりも収集量が少ない状況です。

環境省が実施した一般廃棄物処理事業実態調査（令和4年度実績）において、渋川市の1人1日当たりのごみ排出量とリサイクル率は、県内12市の中で、いずれも下から2番目の数値となっていることから、今後は、分別収集の開始後に顕在化した課題を踏まえ、事業の周知・理解の促進に努め、市民の皆さんなどの協力のもと、より多くのプラスチックのリサイクルの推進を図ります。

問7 プラスチックの分別収集は何のために必要だと思いますか。該当するものを全て選んでください。

- ①燃やすごみの量が減るため（20人・54.1%）
- ②資源の有効活用となるため（29人・78.4%）
- ③二酸化炭素の排出量の削減に繋がるため（10人・27.0%）
- ④分別することでごみ減量の意識が高まるため（12人・32.4%）
- ⑤子どもの環境教育に役立つため（12人・32.4%）
- ⑥わからない（0人）
- ⑦分別収集は必要だと思わない（4人・10.8%）
- ⑧その他（1人・2.7%）

<その他意見>

- ・そもそも収集量だけ確認できて、結果どれくらいの量が年間リサイクルされているのか分からない

年齢別回答状況		単位：人							
（）は人数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
20歳代(4)	1	1					2		4
30歳代(8)	1	4	1				1	1	8
40歳代(5)	3	5	1	1	1				11
50歳代(2)		2							2
60歳代(8)	6	7	2	1	1		1		18
70歳代(7)	7	7	3	2	2				21
80歳代(3)	2	3	3	1	1				10
合計(37)	20	29	10	5	5	0	4	1	

※複数選択可でありながら「②資源の有効活用となるため」の回答のみ、全世代から選択されている

問8 市のプラスチックの分別収集の回数（月2回）についての意見を教えてください。

- ①少ない（回数を増やした方がよい）と思う（12人・32.4%）
- ②ちょうど良いと思う（21人・56.8%）
- ③多い（回数を減らした方がよい）と思う（0人）
- ④わからない（4人・10.8%）

年齢別回答状況 単位:人

()は人数	①	②	③	④	合計
20歳代(4)	3			1	4
30歳代(8)	4	3		1	8
40歳代(5)	1	3		1	5
50歳代(2)		1		1	2
60歳代(8)	2	6			8
70歳代(7)	2	5			7
80歳代(3)		3			3
合計(37)	12	21	0	4	

※30歳代以下の回答で、「①少ないと思う」と回答した人の割合が多く、20歳代では、「②ちょうど良いと思う」と回答した人はいなかった

問9 プラスチックの分別収集に取り組んでいますか。

- ①市のプラスチック専用の指定ごみ袋を利用して取り組んでいる
(29人・78.4%)
- ②スーパーなどの分別収集スペースを活用して取り組んでいる
(2人・5.4%)
- ③分別収集を知っていたが取り組んでいない（6人・16.2%）
- ④プラスチックを分別収集していることを知らなかった（0人）

年齢別回答状況 単位:人

()は人数	①	②	③	④	合計
20歳代(4)	1		3		4
30歳代(8)	5		3		8
40歳代(5)	4	1			5
50歳代(2)	1	1			2
60歳代(8)	8				8
70歳代(7)	7				7
80歳代(3)	3				3
合計(37)	29	2	6	0	

※「①市のプラスチック専用の指定ごみ袋を利用して取り組んでいる」と回答した29人のうち、問8で分別収集に関する設問の回答は、「②ちょうど良いと思う」と回答した人が18人、「①少ないと思う」と回答した人が9人、「④わからない」と回答した人が2人の内訳になる

問 10 上記「問 9」で回答した内容に合わせて下記に回答してください。

■①と回答した方 (29人)

指定ごみ袋を利用した分別収集に取り組んだ感想などを記入してください

＜簡易抜粋＞

(1) 収集の方法への意見

- ・自治会へ出向いて説明してもらいました。よかったですと思います。しかし、出席者は極一部の人ですから周知することはまだまだ努力が必要です

(2) 指定袋のサイズへの意見

- ・一人暮らしの人は 35 リットルでも大きいのかなと思います
- ・小、中、大、特大とあるとさらに良いと思う

(3) 分別収集を継続する上での課題など

- ・「プラスチックの分別」への啓発活動や周知不足 → 地域住民の「プラスチックの分別」意識の低さ
- ・分別して効果があるのに指定袋の購入を強いるのは変な気がします。分別して効果があるなら無料にすることも必要と思います
- ・プラゴミの区分け、プラマークがないもの、汚れているものは燃えるゴミにということなので、確かに面倒になります。今までと同じにしている人は多いと思います
- ・イベントなどでは細かく分別されている気がしない(特に祭りなど行事で感じた)
- ・頻度が増えれば、必然的に収集率は上がってくると思う。「溜めておかなければならない」「溜めておくと匂いが、自宅のどこにおいておく」問題が出てくれば、「燃えるゴミで出してしまえばいいや」となってくると思う
- ・汚れている容器の扱いで、どの程度まできれいにすれば良いのかよくわからない。あまり清潔にしてくださいのでは、水資源の無駄とも考えられる
- ・もっと近隣に上記が可能な大手スーパーを誘致して欲しい。渋川の中心部にいかないといけないのは不便

■②と回答した方 (2人)

市の指定ごみ袋を利用した分別収集を行わない理由を教えてください

＜簡易抜粋＞

- ・分別するために家にゴミ箱が増える。プラ容器は汚れていることが多いので、きれいにすることが手間

■③と回答した方 (6人)

分別収集に取り組んでいない理由を教えてください。

＜簡易抜粋＞

- ・共働きや家にいる時間も短く、そこまで手が回らない
- ・面倒なので他のものと捨ててしまいます

問 11 より多くの人にプラスチックの分別収集に取り組んでもらうために必要だと思ふことは何ですか。また、事業周知などのアイデアがあれば教えてください。

<簡易抜粋>

- ・「ビニール網」を被せるだけの時代遅れで不衛生な「ゴミ置き場」ではなく、他の自治体が当たり前のように設置している金網やスチールや木製の「ゴミステーション」化を推進することで、住民の分別意識向上とマナー向上を図る
- ・「生ごみは入っていません袋」のように「きたないプラごみは入っていません袋」を配布する
- ・市内の小中学校にて分別方法等を周知する
- ・市は今回のプラごみ回収開始にかかった費用を広報誌やHPにてわかりやすく公表すべきではないでしょうか。大切な市税や交付税を使っているわけですから、業者への委託金額やプラごみ回収に関わる予算は開示されて然るべきだと思っています。一般会計からどのくらいプラごみ回収に使い、どれほどの効果が出ているか市民にはっきりと示すことが理解を得る第一歩ではないでしょうか
- ・集めたプラゴミがその後どのように活かされているのか、燃えるゴミと分けることでどんなよいことがあるのかをわかりやすく可視化して情報提供していただけるといいように感じます。特に、そのメリットとして私たちの生活や税金、身近な何かに置き換えてどう反映してるのかまで落とし込んでいただくと老若男女自分ごととして理解できるのではないのでしょうか
- ・集めたプラスチックゴミで渋川市オリジナルのなにかをつくる、例ボールペン集めたプラスチックでボールペンに変身など
- ・腐るゴミではないので、たまった時点で集荷場におけるといいですね
- ・プラスチックを何回か分別して出したら、資源活用で生まれたものをプレゼントするという制度があったら分別する人は増えると思います
- ・丁寧な周知徹底。しつこいくらいに案内をした方がよい
- ・指定場所に捨てに来てもらい、ポイントを一定量溜めれば「渋ペイ」になる等、「継続するとお得」という仕組みを作ると収集率はあがると思う
- ・PR不足と思う。折にふれ伝える
- ・袋だけでなく、回収ボックスも設置されれば、収集量は増えると思う
- ・分別収集を何故するのか。分別収集をすることで何が変わるのか。を周知して欲しい。ポスターを児童に書いてもらおう。(小・中・高・特殊学校)コンクールにて展示、賞を考える
- ・地域通貨を利用してゴミ袋を購入した際は追加でポイント付与、地域通貨アプリと連携した広告やメールマガジン等でゴミの分別を促進する、等ゴミの分別を行うことで得をするという認知があれば自ずと広がるのではないだろうか

令和6年度渋川市優良事業所表彰式を開催します

渋川市内の事業所で、特色を活かしながら技術の改善向上、経営管理等に業績顕著な事業所を表彰する「令和6年度渋川市優良事業所表彰式」を、11月1日(金)に開催します。

1 概 要

「渋川市優良事業所表彰」は、渋川市内の事業所で、特色を活かしながら技術の改善向上、経営管理等に業績顕著な事業所を表彰することにより、事業所の技術向上及び経営改善等に対する意欲の高揚を図り、本市産業の振興に寄与することを目的に実施しているもの。

当該表彰事業は、平成5年度から毎年実施しており、第32回となる今回は、6事業所を表彰します。

2 被表彰事業所（順不同）

- ・有限会社 星野アルミ工業 様
- ・株式会社 大澤屋 様
- ・エル・ライン 株式会社 様
- ・株式会社 ライフプラネット 様
- ・関越交通 株式会社 様
- ・社会福祉法人 誠光会 様

3 日 時 令和6年11月1日(金) 午後1時30分～2時00分

4 場 所 渋川市役所第二庁舎 201会議室

参考

1 渋川市優良事業所表彰要綱 抜粋

(表彰の対象)

第2条 渋川市優良事業所表彰（以下「表彰」という。）の対象となる事業所は、市内にあって市税の未納が無く、かつ、次のいずれかに該当するものとする。

- (1) 製品出荷額等伸展著しくかつ経営の努力、改善等顕著な業績の認められる事業所
- (2) 男性・女性を問わず、全ての労働者が働きやすい職場環境づくりを推進していると認められる事業所
- (3) 環境負荷の低減及び良好で快適な環境の保全に努め、その取組が認められる事業所
- (4) その他特に市長が表彰の必要があると認める事業所

(被表彰事業所の推薦)

第4条 渋川公共職業安定所長、渋川商工会議所会頭及びしづかわ商工会長（以下「関係機関の長」という。）は、第2条に該当する事業所があるときは、渋川市優良事業所推薦調書（別記様式）により市長へ推薦するものとする。

2 過去3年間の被表彰者

第29回 令和3年度 令和3年11月17日（水）13：30～ 市役所第二庁舎202会議室

No	事業所名	代表者名	本社等住所	業種
1	石田商事 有限会社	石田 洋一	渋川市北橘町真壁1755-1	小売業
2	有限会社 白黒屋緑土	南雲 隆司	渋川市赤城町持柏木569	造園業
3	井口建設 株式会社	井口 昭宏	渋川市石原903-1	建設業
4	医療法人仁成会 平形歯科医院	平形 寿善	渋川市石原964-1	医療業
5	日本精密測器 株式会社	松田 健治	渋川市中郷2508-1	電気機械器具製造業
6	社会福祉法人 赤城会	今成 千鶴子	渋川市赤城町津久田194-19	障害者福祉事業

第30回 令和4年度 令和4年11月8日（火）13：30～ 市役所第二庁舎202会議室

No	事業所名	代表者名	本社等住所	業種
1	有限会社 京ひで	牧 謙良	渋川市行幸田301-2	呉服販売及びレンタル業・写真スタジオ
2	長栄開発 株式会社	薄井 正幸	渋川市川島2470-8	サービス業（ゴルフ場）
3	株式会社 渋川製作所	町田 久	渋川市渋川3673	電気機械器具製造業
4	社会福祉法人 橘風会	内田 章義	渋川市北橘町八崎2365-1	老人福祉・介護事業
5	藤伸板金 有限会社	須藤 兼司	渋川市吹屋582-5	建築板金
6	株式会社 塚越屋	塚越 左知子	渋川市伊香保町伊香保175-1	旅館

第31回 令和5年度 令和5年11月7日（火）13：30～ 市役所第二庁舎202会議室

No	事業所名	代表者名	本社等住所	業種
1	医療法人 恒和会 関口病院	関口 浩五郎	渋川市渋川1693-12	医療業
2	第一電気 株式会社	福西 浩明	渋川市赤城町三原田618	その他の電気機械器具製造業
3	有限会社 赤城土建	茂木 眞吉	渋川市赤城町長井小川田1777	土木工事業
4	有限会社 中村新聞店	田村 貴子	渋川市北橘町八崎865	新聞小売業
5	第一自動車 株式会社	永井 廣通	渋川市金井783-4	自動車修理販売業
6	株式会社 鶴亀	小笠原 健祐	渋川市渋川3670-1	飲食業

■問い合わせ先

産業観光部 部長 金井 裕昭（内線4899）

担当：産業政策課（電話0279-22-2596）

課長 山田 量俊（内線4890）

産業立地推進室長 高橋 智彦（内線4893）

令和6年度しづかわ市民教育の日事業 (愛称：しづかわ市民まなびの日) を開催します

「令和6年度しづかわ市民教育の日事業(愛称：しづかわ市民まなびの日)」を、11月2日(土)に開催します。しづかわ市民教育の日実行委員会を含む関係団体による舞台発表、各種体験コーナーの設置などを行います。

1 目 的

しづかわ市民教育の日を記念して、平成19年度から市民教育の日月間である11月にしづかわ市民教育の日事業(愛称：しづかわ市民まなびの日)を開催してきました。

しづかわ市民教育の日事業(愛称：しづかわ市民まなびの日)は、「市民の教育に対する関心と理解を深め、その重要性を再認識し、市民全体で教育に関する取組を推進し、教育の充実と発展を図る」こと。また、「家庭、学校及び地域が連携して、明日の渋川市を担う心豊かでたくましい子どもたちを育成するとともに、生涯にわたって自ら学び、郷土を愛し、地域社会に主体的に参画する人づくりを進める」ことを目的として開催するものです。

2 開 催 日 令和6年11月2日(土) 午前9時30分～正午

3 場 所 渋川市民会館

4 内 容

(1) パネル展示コーナー(午前9時30分～正午)

- ・しづかわ市民教育の日実行委員会所属団体等の活動紹介
 - ・ポスターデザインコンテスト入賞作品、応募作品紹介
 - ・市内高校ほっとな情報掲示板(市内高等学校及び特別支援学校高等部の情報)
- ※より多くの市民に渋川市民教育の日実行委員会等の活動を紹介するため、まなびの日当日以外に、下記日程及び場所でパネル展示を行います。

日時：令和6年11月1日(金) 正午～午後5時

場所：渋川市民会館大ホールホワイエ

(2) 式 典(午前9時30分～10時)

- ・主催者挨拶
- ・来賓祝辞
- ・しづかわ市民教育の日実行委員会紹介

(3) 舞台発表(午前10時～11時)

- ・渋川警察署少年補導員連絡会による大型紙芝居
- ・渋川子ども若者未来創造プロジェクトによるミュージカルの実演
- ・NPO法人渋川ジュニアオーケストラによる演奏
- ・地域ぐるみで子どもを育てる小野上公民館事例発表

(4) 体験コーナー（午前10時～正午）

- ・スタンプラリー
- ・ボッチャ・モルック体験（公益財団法人渋川市まちづくり財団 しぶかわスポーツクラブ課）
- ・食育アプリを使って楽しく食生活や栄養を学ぼう！（大塚製薬株式会社）
- ・楽しい学校給食（教育総務課、株式会社東洋食品、共愛学園前橋国際大学、総合厨房設備株式会社、公益財団法人群馬県学校給食会）
- ・オリジナル缶バッジづくり（青少年育成推進員連絡協議会）
- ・出張「まちの保健室～知ってとくするがん検診～」（渋川市保健センター）

(5) まなびの日キャラクター公式名称の投票

右のキャラクターは、しぶかわ市民まなびの日の実施開始まもなくから長い間、ポスターやチラシなどで公式キャラクターとして使われてきました。

このキャラクターに名前を付けてはどうかという提案が実行委員会の中で上がったことから、昨年度のしぶかわ市民まなびの日に、来場者アンケートの中でキャラクターの名前を募集しました。その募集結果を、今年度の実行委員会にかけて幾つかの候補として選出し、今年度のまなびの日に来場者の投票にて正式名称を決定することとなりました。

【キャラクター公式名称の候補】

まなびいちゃん / まなびちゃん / しぶまなちゃん / まなしぶちゃん
※上記候補の中から来場者に投票いただき、正式名称を決定します



5 参加料 無料

6 高校生の活動参加

(1) 当日

- ・受付：渋川青翠高等学校生徒会
- ・司会：渋川女子高等学校放送部

(2) ポスター及びチラシ制作

渋川青翠高等学校デザイン部にポスター及びチラシのデザイン制作を依頼したところ、13作品の提出がありました。

しぶかわ市民教育の日実行委員会において、最優秀賞1作品、優秀賞2作品が選ばれ、最優秀賞作品を広報用のポスターとして採用しました。

7 その他

同日、第30回全国創作こけし美術展が小ホールで開催されています。

8 主 催 渋川市 渋川市教育委員会

9 実行委員会構成団体（順不同）

子ども会育成会連絡協議会、小中学校PTA連絡協議会、小中学校長会、
青少年育成推進員連絡協議会、青少年センター補導員会、社会教育委員会議、
自治会連合会、民生委員児童委員協議会、人権擁護委員協議会、スポーツ協会、
スポーツ少年団、スポーツレクリエーション協会、武道振興会、女性団体連絡協議会、
渋川北群馬保護区保護司会、渋川・北群馬地区更生保護女性会、
渋川警察署少年補導員連絡会、渋川地区職場警察連絡協議会、
渋川地区薬物乱用防止推進連絡会議、渋川ロータリークラブ、
渋川みどりロータリークラブ、渋川ライオンズクラブ、渋川中央ライオンズクラブ、
渋川青年会議所、渋川地区BBS、ボーイスカウト渋川第2団、
ガールスカウト群馬県第42団、NPO法人渋川ジュニアオーケストラ、
群馬県退職校長会北群馬・渋川支部、渋川子ども若者未来創造プロジェクト
（公財）渋川市まちづくり財団しぶかわスポーツクラブ課、

10 協賛企業（50音順）

大塚製薬(株)、群馬ヤクルト販売(株)、サントリーブロダクツ(株)

参考

過年度の来場者実績

平成19年度：200人	平成20年度：471人	平成21年度：375人	平成22年度：497人
平成23年度：150人	平成24年度：445人	平成25年度：650人	平成26年度：450人
平成27年度：480人	平成28年度：650人	平成29年度：500人	平成30年度：350人
令和元年度：600人	令和2年度：635人	令和3年度：392人	令和4年度：527人
令和5年度：669人			

■問い合わせ先

教育部 部長 齊藤 章吉（内線4930）

担当：生涯学習課（電話0279-22-2500）

課長 照井 智子（内線4950）

青少年係長 狩野 美菜子（内線4952）

しぶかわ市民

令和6年度

まなびの日

入場無料



日時 令和6年 11月2日(土)

午前9時30分～12時

会場 渋川市民会館

主催 渋川市 渋川市教育委員会

主管 しぶかわ市民教育の日実行委員会

問い合わせ：渋川市教育委員会生涯学習課

TEL 0279-22-2500

徳富蘆花記念文学館「浮世絵展」を開催します

徳富蘆花記念文学館所蔵の「大錦木曾街道六十九次」や「伊香保八景」などの浮世絵の複製版画を展示する「浮世絵展」を、11月2日(土)から12月25日(水)まで開催します。

1 概要

徳富蘆花記念文学館が所蔵する「大錦木曾街道六十九次」や「伊香保八景」などの浮世絵の複製版画を展示します。

昭和初期の複製版画集「大錦木曾街道六十九次」は、「日本橋」から「板鼻」までの15図の展示、「伊香保八景」では、歌川広重と玉蘭斎貞秀の両作者による表紙を含む18図の展示のほか、明治初期の伊香保温泉を描いた浮世絵などを展示します。

- 2 開催期間** 令和6年11月2日(土)～12月25日(水)
 ※開館時間：午前8時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- 3 会場** 徳富蘆花記念文学館（渋川市伊香保町伊香保614-8）
- 4 入館料** 大人＝350円
 小・中・高校生＝200円

参考

●歌川広重（1797年～1858年）

本名安藤重右衛門といい歌川豊広に入門。父は火消同心で跡を継ぐが、その後浮世絵師となる。江戸時代の浮世絵師で安藤広重としても広く知られている。「東海道五十三次」が有名。

●玉蘭斎貞秀（1807年～1879年？）

本名橋本兼次郎といい初代歌川国貞の門人。江戸時代後期から明治時代にかけての浮世絵師。横浜絵の第一人者といわれ、精密で鳥瞰式の一覧図を描いたことで知られている。

■問い合わせ先

教育部 部長 斉藤 章吉（内線4930）

担当：伊香保公民館徳富蘆花記念文学館（電話0279-72-2237）

館長 山田 健司（伊香保公民館・電話0279-72-5777）

館長補佐 宮下 眞範（徳富蘆花記念文学館・電話0279-72-2237）